

新型コロナウイルスワクチン接種について

すこやか健康課

1 新型コロナウイルスワクチン接種状況

[接種状況 R3.11.19 現在]

回数	接種人数	接種率	備考
1回目	13,081人	85.8%	対象人数
2回目	12,964人	85.0%	15,246人

2 今後の予定

- ・臨時接種期間の延長 令和4年9月30日まで
- ・2回接種終了し、8ヵ月経過した者を対象に3回目の追加接種を実施。
令和3年12月から順次実施予定。
- ・11月26日 医療従事者の3回目接種券発送 約100人
- ・小児用(5~11歳)新型コロナウイルスワクチン接種は、早ければ令和4年2月から開始予定。
- ・一つの接種会場(医療機関)で複数のワクチン利用、対象者(1・2回目又は3回目接種など)の接種が可能となったが、今後実施体制・方法など医療機関や中部市町と連携し実施していく。

対象者

■ **2回目接種完了から、原則8ヵ月以上経過した18歳以上の者**を対象に、**3回目接種**を行う。

臨時接種期間

■ **令和3年2月17日から令和4年9月30日**まで（この間は1, 2回目接種も継続して実施）

費用

■ **無料**（全額公費負担）

開始時期

■ 医療従事者を対象に**12月1日から開始**し、高齢者施設入所者・職員、その他の町民へ順次接種を行う。

その他

■ 1, 2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、交互接種可能。

小児（5～11歳）の新型コロナウイルスワクチン接種を早ければ令和4年2月から開始する可能性あり。

※ R3.11.10.時点での2回接種終了者 12,400人
 （医療従事者 約100人、高齢者施設巡回接種 680人、集団接種 約2,800人、個別接種 約8,820人）

※ R3.11.17の情報による
 自治体説明会資料（厚生労働省）より

想定スケジュール	R 3.12	R 4.1	R 4.2	R 4.3	R 4.4	R 4.5	R 4.6
接種対象者数	医療従事者 100人	高齢者施設 入所者310人 職員370人	R 3.6 接種終了者 高齢者 2,800人	R 3.7 接種終了者 高齢者 2,700人	R 3.8 接種終了者 64歳以下 3,800人	R 3.9 接種終了者 59歳以下 1,730人	R 3.10 接種終了者 59歳以下 590人
コールセンター 委託		→					
接種場所	各医療機関	高齢者施設		琴浦町保健センター			
			医療機関				

第2期 琴浦町食育推進計画について

すこやか健康課

1 趣旨

食育基本法(平成17年法律第63号)第18条第1項に規定する町が策定する食育推進計画「琴浦町食育推進計画」が令和3年度末をもって終期を迎えることから、これまでの取組の評価や国、県の動向を踏まえて計画を見直し、令和4年度から5年間のプランとして、今後取り組むべき課題ごとに取組の方針や行動目標を示した「第2期琴浦町食育推進計画」を策定するもの。

2 計画期間

令和4年度～令和8年度

3 経過

庁内担当で構成する食育推進関係課会議および有識者と行政職員で構成する琴浦町食育推進委員会において、食育に関する取組み等の情報共有、現状・課題等の確認を行い、計画立案の協議を行った。

(1) 食育推進関係課会議 4回開催

【開催日】令和3年7月12日、8月26日、9月29日、11月10日

(2) 琴浦町食育推進委員会 3回開催

【開催日】令和3年7月29日、10月14日、11月18日

4 計画の概要

(1) スローガン 「海と大地の恵み 豊かな琴浦 食をたのしみ いきいき元気 !!」

(2) 基本方針

ア 生涯を通じて心身の健康を支え、健康寿命の延伸につなげる食育

イ 食の循環や環境を意識し、豊かな食文化の継承につなげる食育

(3) その他

基本方針のもと、町民一人ひとりが食育に取組、家庭、行政、保育園・こども園、学校、地域、生産者、事業者、関係機関・団体等が連携して食育を推進するため、「3つの重点目標」と「7つの目標」を定める。

5 今後のスケジュール

- ・令和3年12月中旬～約3週間 パブリックコメントの募集
- ・3月 第2期 琴浦町食育推進計画策定

食育でめざす町の姿

海と大地の恵み 豊かな琴浦 食をたのしみ いきいき元気 !!

基本方針

- (1) 生涯を通じて心身の健康を支え、健康寿命の延伸につなげる食育
- (2) 食の循環や環境を意識し、豊かな食文化の継承につなげる食育

みんなで実践する3つの重点目標と7つの目標

【重点目標】
食を通じた健康づくりを推進する



食に関する正しい知識を持つ

健全な食習慣を実践する

【重点目標】
食の体験を通し、豊かな心を形成する



食の体験活動をする

食事を共に楽しむ

【重点目標】
環境に配慮し、豊かな食文化を継承する



地元食材を活用する

食文化への関心を高め継承する

食品ロスを削減する